



横穴式石室を間近に見ることができる

前回紹介した太子御廟の南、道を挟んで西方院がある。太子を養育した日益(ひます)・馬子の娘)、月益(つきます)・小野妹子の妹)、玉照(物部守屋の妹)の3人が出家して菩提を弔ったと伝えられ、現在も尼寺で住職の姓は「蘇我」だ

そつだ。東へ戻り太子中皇陵があった。2段の方墳である。更に南の大地方墳に大和と共に擁立された最初の女帝・推古天皇陵、磯長(しなが)山田陵の森が宮内庁の手できれいに整備されている。江戸時代、陵墓が壊

れ村人が中に入ると伝えられた通り石棺が並んで見つかった。女帝の子、竹田皇子が先に埋葬され、推古天皇も遺詔で同じく葬られたという。更に東の二上山に続く山麓に科長(しなが)神社があった。鳥居の下から

コ(猪子)と呼ばれたものが転じてイモコとなつたそつだ。ちなみに猪子は馬子の弟で河内蘇我氏の祖の一人である。太子カントリー倶楽部の山を南へ迂回すると行

設計」とあるが、コンクリート打ち放し巨大な四角の塊は、周囲の緑といささかそぐわぬ異様な雰囲気である。ちょうど「出土木器が語る考古学」の特別展示期間で、府内から出土した弥生・古墳時代の建築材、食器、鋤(すき)、

コーナー・相談カウンターがあり、質問や相談に応じ、また定期的に学芸員が案内する野外活動やイベントも行われるそつだ。考古マニアには格好の場所だ。博物館の裏口から近つ

整備されたとはいえ、急な斜面に並ぶ横穴式古墳をたどるのは相当な健脚が必要だ。汗だらけになつてやっと第1展望台まで多くの古墳を見て回った。展望台からは近

飛鳥の里が一望でき、風が爽やかに吹いていた。それにしても、クレールもブルドーザーもない時代に、この急斜面に巨石をどのように組み立てたのか想像もつかない。近傍に巨石が産出した様子もない。数百枚も巨石を運び上げるのは不可能に見える。

帰途は管理事務所まで下る一方、ちょうど桜が満開で花のトンネルだ。事務所には人影もなく、阪南ネオポリスのバス停から喜志駅へのバスに乗った。

神一と染め抜いてある。もとは二上山にある二上権現をここに遷したといわれる。この神社は先住支配者の息長(おきなが)氏の祖神を祭ったものによつた。息長も科長も磯長も同義といふ。鳥居前の階段を更に上ると伝小野妹子墓があった。実はこの塚は全く根拠のないもので、昔イノ

き止まりに、「府立近つ飛鳥博物館」があった。案内書には「日本古代国家の形成過程と国際交流を学ぶ」をメインテーマとする古墳に関する博物館で、「近つ飛鳥風土記の丘全体を一望できるよつ有名な安藤忠雄氏の

緞(くわ)、織機など生産具、祭祀具など多数の木器破片が展示されている。出土品といえは、土器、石器と思いがちだが、今も昔も木が人間の生活に密着した素材である(ことを実感させる。こ

紀の群集墳を代表する一須賀古墳群を史跡公園として整備保存したもので、29畝の圏内に102基の円墳があり、うち40基の横穴式石室の内部が見学できる。ここからの眺(おびただ)しい出土品が博物館の常設展示品

である。整備されたとはいえ、急な斜面に並ぶ横穴式古墳をたどるのは相当な健脚が必要だ。汗だらけになつてやっと第1展望台まで多くの古墳を見て回った。展望台からは近

飛鳥の里が一望でき、風が爽やかに吹いていた。それにしても、クレールもブルドーザーもない時代に、この急斜面に巨石をどのように組み立てたのか想像もつかない。近傍に巨石が産出した様子もない。数百枚も巨石を運び上げるのは不可能に見える。

帰途は管理事務所まで下る一方、ちょうど桜が満開で花のトンネルだ。事務所には人影もなく、阪南ネオポリスのバス停から喜志駅へのバスに乗った。

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。M&Dホールとは、歯科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの愛称です。

第22回 保団連医療研究集会

全国保険医団体連合会は、10月6日～7日の日程で第22回保団連医療研究集会を福岡で開催します。下記内容で発表演題を募集しますので発表したい分科会(下記分科会)を指定して協会事務局(06-6568-7731)までお申し込みください。

開催日時と企画内容

- ▼10月6日(土)・7日(日)
- ▼会場 福岡市・博多全日空ホテル
- ▼メインテーマ

「よかけん いくけん 医療研!
～癒しの医療と平和を求めて～」

- ▼記念講演
「がんばらない けど あきらめない」
鎌田 實氏(諏訪中央病院名誉院長)
「ミジンコの命～命は透けて見えてくる」
坂田 明氏(ミジンコ研究者・アルトサックス奏者)
- ▼分科会テーマ
・第1分科会「在宅医療・介護」
・第2分科会「内科診療の研究と工夫」(2会場)
・第3分科会「歯科診療の研究と工夫」(2会場)
・第4分科会「公害・環境・職業病」
・第5分科会「医学史・医療運動史・医療と裁判」
・ポスターセッション
※1医療機関1演題まで。発表8分・質疑4分

演題の申し込み 分科会・ポスターセッション演題募集

- 申し込み締め切り 5月31日(木)
- 応募条件
演題発表者は、会員または会員との共同研究者であること。スタッフ等による共同研究の発表も受け付けます。
- 応募演題の内容
①日常診療の向上につながる内容であること。
②日常診療を行う上で対応できないものや疑問を生じさせる内容でないこと。
③上記①、②の観点にそつて医科、歯科開業医の学問的にも、また一般常識からみても良識の範囲内におさまる内容であること。
④内容が営業活動に通じると実行委員会が判断したものは受け付けできない。
- 参加費等
①集会参加費
医師、歯科医師 8,000円
コ・メディカル、コ・デンタルなど 500円
②昼食代(7日昼) 2,000円

2007年 消夏号

投稿・写真を募集します
締め切りは7月18日必着です
得意なジャンルでお気軽に!

消夏号への会員投稿を募集しています。応募要領を、覧の上、新聞部までお申し込み下さい。掲載者には薄謝進呈します。なお、掲載の可否については新聞部会等でご確認ください。

【投稿】字数は600字以内、顔写真(近影)を同封下さい。①スポーツや趣味②日常の臨床や生活、家族のこと③夏に思ふこと④エッセイ、川柳、俳句、詩⑤旅行記など

【写真】①山や海②夏にまつわる風景③人物写真など。

デジタルデータまたはサービスタップまたは以下でお願ひします。
※原稿は郵便またはファクス(06-6568-10564)、電子メール(アドレス k.nishino@doc-hel.or.jp)で送付下さい。

協会行事案内

大阪市西部・東部地区
「鳴門の渦潮と海鮮料理を堪能する日帰りバスツアー」
日時 6月17日(日) 午前8時30分～午後7時
行き先 徳島県鳴門市 定員 48名
費用 会員1万円、小学生以下5千円

北大阪地区講習会
「予防歯科のための『意欲を引き出す』ミニセミナー」
日時 6月17日(日) 午前10時～正午
会場 千里朝日阪急ビル14階2号会議室
講師 福原稔氏(吹田市開業)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 60人

新人スタッフ総合講座
日時 6月24日(日) 午前9時45分～午後4時
内容 午前 接遇マナー講習(受付対応からチェアサイドでの心構えまで)
午後 歯科助手編、歯科衛生士編別に講習
講師 岩崎小百合氏(歯科臨床学術・学会部員)ほか
会場 M&Dホール及び保険医会館
会費 会員院所スタッフ6千円 定員 120人
※午前・午後通しての参加になります。昼食は各自でご用意ください

アシスタントのためのセメント・印象材練和テクニク
日時 7月8日(日) 午後1時～4時
講師 岩崎小百合氏(歯科臨床学術・学会部員)
会場 保険医会館 定員 30人(先着順)
会費 会員院所スタッフ3千円
※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申込みください

女性医師・歯科医師の会
余技展「ご案内と作品募集」
展示日時 7月10日(火)～14日(土)
午前10時～午後7時(最終日は午後5時まで)
展示会場 薬業年金会館ギャラリー(☎06-6768-1445) 地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」駅下車すぐ

入場料 無料
募集作品 日常的に取り組まれている作品、何でも結構です。(例えば、絵画、書、写真、彫刻、陶芸、手芸、水墨画、俳画、絵手紙、ステンドグラス、アートフラワー、人形、刺繍、染色など)
※パネル物は50号以内でお願いします
出展料 5千円(お一人2点まで)
※出展は女性に限らせて頂きます
募集締切 6月8日 申し込み 協会事務局まで

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。